

## DH

先日、理事会があり、来春から導入されるDH制についての説明がありました。このルールは把握しておかないとマズいぞ・・私（一応）学校隣球場の主任、大会を運営する者として、試合時の混乱は絶対に避けなければならないからです。

始めにこんな説明がありました。

DHというのは試合途中から使用することはできません。皆さんどう思いますか？おっ、これは分かりやすい・・そう思いませんか？試合前のメンバー交換時、使用しないと言われればその試合終了まで使われないのでですから・・また、DHが解除になる（試合途中使えなくなる）のは以下の時、

- 1 投手が他の守備についていた場合
- 2 代打者または代走者が試合に出て、そのまま投手となつた場合
- 3 投手が指名打者の代打者または代走者になつた場合
- 4 指名打者が守備についていた場合
- 5 他の守備位置についていたプレーヤーが投手になつた場合

この辺までは何となく理解できます。

その日の説明会がややこしくなったのはここから・・いわゆる「（メジャー）大谷選手ルール」、これです。大谷選手のように投手としても打者としても出場する場合、今までのよう、1番ピッチャー大谷として出場すれば（その試合DHは使わない）問題ありませんが、それだと降板したあと打席に立てないため、同一人物でありながら、1番DH大谷、投手も大谷という形をとれるのが「大谷ルール」、この辺から現状、私の解釈が曖昧になります。DH大谷に代打を出した時？投手大谷を変えた時？、投手大谷が野手になった時？出場している野手が大谷に代わって投手になった時？・・

大谷ルールは使用できない・・としていただいだ方がルールのスタートとしては良いのかも知れません・・が、そうでなければ勉強するしかありません。理解できるよう頑張りたいと思います。

市立浦和高等学校野球部通信

発行者 鈴木 諭

発行日 R 7. 12. 15

発行ナンバー 1236号

（鈴木主将の代・・38号）

人として・・

小・中学校時、同じチームで共に野球をした仲間がプロへ進みました。今日書きたいのは彼のプレーが凄かったという話ではありません。その指導者の方の話になります。

この選手がプロに指名され、契約という状況になった時、その高校の監督はこのようにプロ関係者に話したそうです。「これから選手として活動する期間、贅沢できるような給料はいただかなくて結構です。ただ、この選手は私が高校3年間しっかり人として育ててきましたので、現役引退後も球団で面倒を見ていただきたいです・・」

この指導者の方は今でもご健在ですが、年齢等を考えると、この発言をされたのが今の私（51歳）ぐらいの年齢なのです。凄いと思いませんか？ご自身の指導に対する自信、教え子に対する信頼、また、これから始まる華やかな世界（プロ野球選手）のことよりも現役引退後の心配をされているところ・・今、そのような事態（教え子がプロに入る）があった時、私、このような発言は多分出来ないと思います。

彼は結局、1軍でも活躍しましたが、プロには10年間在籍して引退（多分28歳の時）、大事なのはここ、51歳になった今でも球団のマネージャーとして勤務しています。

今、「人として大丈夫か？」そう思わせるプロ野球選手を見かけませんか？高校年代の子達を「人として育てる」重要性についてつくづく感じています。高校野球というのは、教育活動の中、行われているのですからなおさらです。

見習いたいと思います。